



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社アドウェイズ 上場取引所 東
 コード番号 2489 URL https://www.adways.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,468	△0.5	344	117.9	338	182.1	△122	—
29年3月期第3四半期	30,615	6.1	158	△70.8	119	△80.3	△251	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △94百万円（-％） 29年3月期第3四半期 △552百万円（-％）

	1株当たり 四半期純損失（△）	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△3.17	—
29年3月期第3四半期	△6.18	—

(注) 平成29年3月期第3四半期及び平成30年3月期第3四半期について、親会社株主に帰属する四半期純損失のため対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	17,141	10,843	62.5	276.52
29年3月期	18,316	11,051	59.6	281.92

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,713百万円 29年3月期 10,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.35	2.35
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	2.35	2.35

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	8.7	560	77.4	730	194.1	220	—	5.68

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が損失であったため、対前期増減率は記載していません。
 3. 1株当たり当期純利益は、当第3四半期累計期間の期中平均株式数（自己株式を除く）である38,745,721株を通期の期中平均株式数と仮定して算出しております。
 4. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	41,583,500株	29年3月期	41,583,500株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,837,800株	29年3月期	2,837,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	38,745,721株	29年3月期3Q	40,725,900株

※ 四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会の開催日及び決算説明会資料の入手方法）

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト（<https://ir.adways.net/>）にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日)の当社グループにおける連結業績は、以下のとおり、前年同期に対して売上高は減少したものの、増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第3四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	当第3四半期 連結累計期間 (平成30年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	30,615,011	30,468,764	△146,246 (△0.5%)
営業利益	158,188	344,732	186,543 (117.9%)
経常利益	119,852	338,067	218,215 (182.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△251,785	△122,995	128,789 (—)

売上高は、第2四半期連結累計期間までは国内の広告事業が順調に推移したものの、当第3四半期連結会計期間において、PC向け広告のクライアントからの出稿が減少したこと等により、30,468,764千円(前年同期比0.5%減)となりました。

営業利益は、売上総利益が増加したことにより344,732千円(前年同期比117.9%増)、経常利益は、営業利益の増加及び為替差損の減少等により338,067千円(前年同期比182.1%増)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券評価損等による特別損失を計上したものの54,186千円(前年同期比109,908千円の増加)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等を計上したことにより122,995千円の損失(前年同期は251,785千円の損失)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第3四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	当第3四半期 連結累計期間 (平成30年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	12,959,822	12,883,604 △76,217 (△0.6%)
		PC向け広告	13,377,441	12,491,346 △886,094 (△6.6%)
		合計	26,337,263	25,374,951 △962,311 (△3.7%)
	②アプリ・ メディア 事業	アプリ事業	230,675	173,172 △57,502 (△24.9%)
		メディア事業	259,917	346,563 86,645 (33.3%)
		合計	490,593	519,736 29,143 (5.9%)
	③海外事業	3,709,574	4,565,858 856,283 (23.1%)	
	④その他	77,579	8,217 △69,362 (△89.4%)	
	セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業	2,099,779	1,807,229 △292,550 (△13.9%)
		②アプリ・メディア事業	△46,392	△119,819 △73,426 (—)
③海外事業		△601,331	△159,715 441,615 (—)	
④その他		△187,565	△187,275 289 (—)	

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「Smart-C」、「AppDriver」並びにPC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、ゲーム、マンガ及び女性向けアプリ等の広告売上が増加したものの、プロモーションの精査を行ったことにより、売上高は12,883,604千円(前年同期比0.6%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、クライアントからの出稿が減少したことにより、売上高は12,491,346千円(前年同期比6.6%減)となりました。

この結果、広告事業の売上高は25,374,951千円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益は1,807,229千円(前年同期比13.9%減)となりました。

②アプリ・メディア事業

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社であるADWAYS TECHNOLOGY LTD.において、スマートフォンアプリの開発・運営を行うアプリ事業と、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等のメディア運営等を行っているメディア事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームアプリの売上が減少したことにより、売上高は173,172千円(前年同期比24.9%減)となりました。

また、メディア事業では、株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業において新規顧客開拓を積極的に行ったことにより、売上高は346,563千円(前年同期比33.3%増)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は519,736千円(前年同期比5.9%増)、セグメント損失は119,819千円(前年同期は46,392千円の損失)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール・インドにおいて、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間における海外事業は、中国におけるEC Data事業の伸張を始め、各国の連結子会社において売上高の増加及び販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、売上高4,565,858千円(前年同期比23.1%増)、セグメント損失は159,715千円(前年同期は601,331千円の損失)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第3四半期連結累計期間におけるその他は、前連結会計年度においてインターネットを活用した中古品買取販売事業を営んでいた連結子会社の売却により、売上高は8,217千円(前年同期比89.4%減)、セグメント損失は187,275千円(前年同期は187,565千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (平成29年12月31日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	18,316,780	17,141,519	△1,175,261 (△6.4%)
負 債 合 計	7,265,250	6,298,156	△967,093 (△13.3%)
純 資 産 合 計	11,051,530	10,843,362	△208,167 (△1.9%)

[資産合計]

- ・流動資産は、前連結会計年度末より1,002,938千円減少し14,446,351千円となりました。主な要因は、現金及び預金が162,675千円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,190,512千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は、前連結会計年度末より172,322千円減少し2,695,167千円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が117,192千円、差入保証金が53,007千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は、前連結会計年度末より1,005,266千円減少し6,138,990千円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が893,759千円減少し、未払法人税等が49,126千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は、前連結会計年度末より38,172千円増加し159,166千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が24,362千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・純資産は、前連結会計年度末より208,167千円減少し10,843,362千円となりました。主な要因は、利益剰余金が214,345千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けておりますインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸張を続けるものと思われま。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォン向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。このような状況のもと、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の売上高は、46,000百万円を見込んでおります。営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により560百万円を見込んでおり、経常利益は730百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は220百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,853,650	9,016,326
受取手形及び売掛金	6,360,872	5,170,360
たな卸資産	7,711	3,618
繰延税金資産	25,352	21,256
その他	432,401	503,832
貸倒引当金	△230,698	△269,041
流動資産合計	15,449,290	14,446,351
固定資産		
有形固定資産	275,973	307,287
無形固定資産		
のれん	196,269	98,956
その他	122,288	193,547
無形固定資産合計	318,557	292,504
投資その他の資産		
その他	2,396,657	2,241,355
貸倒引当金	△123,698	△145,979
投資その他の資産合計	2,272,959	2,095,376
固定資産合計	2,867,490	2,695,167
資産合計	18,316,780	17,141,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,284,414	4,390,655
未払法人税等	68,995	19,869
その他	1,790,846	1,728,465
流動負債合計	7,144,256	6,138,990
固定負債		
その他	120,994	159,166
固定負債合計	120,994	159,166
負債合計	7,265,250	6,298,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,258	1,605,258
資本剰余金	7,294,951	7,280,071
利益剰余金	2,771,058	2,556,713
自己株式	△1,406,527	△1,406,575
株主資本合計	10,264,742	10,035,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,418	328,631
為替換算調整勘定	337,885	349,805
その他の包括利益累計額合計	658,304	678,437
新株予約権	5,447	5,447
非支配株主持分	123,035	124,008
純資産合計	11,051,530	10,843,362
負債純資産合計	18,316,780	17,141,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,615,011	30,468,764
売上原価	25,402,852	24,996,548
売上総利益	5,212,158	5,472,216
販売費及び一般管理費	5,053,970	5,127,483
営業利益	158,188	344,732
営業外収益		
受取利息	28,495	27,614
外国税還付金	14,847	6,897
補助金収入	3,120	1,580
消費税等免除益	508	11
投資有価証券評価益	—	4,353
その他	7,885	13,405
営業外収益合計	54,857	53,862
営業外費用		
為替差損	68,739	2,104
投資有価証券評価損	3,536	—
貸倒引当金繰入額	—	23,821
持分法による投資損失	4,158	19,385
その他	16,758	15,215
営業外費用合計	93,193	60,527
経常利益	119,852	338,067
特別利益		
関係会社株式売却益	25,476	32,202
投資有価証券売却益	35,816	19,480
特別利益合計	61,293	51,683
特別損失		
関係会社株式評価損	79,422	50,424
投資有価証券評価損	154,503	207,219
関係会社株式売却損	—	80
固定資産除却損	—	12,021
減損損失	2,942	65,819
特別損失合計	236,868	335,564
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△55,722	54,186
法人税、住民税及び事業税	162,511	146,742
法人税等調整額	28,201	24,964
法人税等合計	190,713	171,707
四半期純損失(△)	△246,435	△117,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,349	5,474
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△251,785	△122,995

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△246,435	△117,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,883	8,212
為替換算調整勘定	△342,202	15,155
その他の包括利益合計	△306,318	23,367
四半期包括利益	△552,754	△94,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△542,579	△102,862
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,174	8,709

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高 外部顧客に対す る売上高	26,337,263	490,593	3,709,574	30,537,431	77,579	30,615,011	-	30,615,011
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	354,581	729	932,502	1,287,812	22,948	1,310,761	△1,310,761	-
計	26,691,845	491,322	4,642,077	31,825,244	100,528	31,925,773	△1,310,761	30,615,011
セグメント利益 又は損失(△)	2,099,779	△46,392	△601,331	1,452,055	△187,565	1,264,490	△1,106,301	158,188

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,106,301千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、保有するソフトウェアについて減損損失2,942千円を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にMAIDEN MARKETING (INDIA) PVT. LTD. よりポイントアプリ事業の事業譲受を行ったため、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において133,298千円であります。

また、同セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にMist Technologies株式会社の株式を取得したことに伴い、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において203,505千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	25,374,951	519,736	4,565,858	30,460,546	8,217	30,468,764	—	30,468,764
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	625,745	4,939	1,008,576	1,639,260	53,934	1,693,195	△1,693,195	—
計	26,000,697	524,675	5,574,435	32,099,807	62,152	32,161,959	△1,693,195	30,468,764
セグメント利益 又は損失(△)	1,807,229	△119,819	△159,715	1,527,694	△187,275	1,340,418	△995,686	344,732

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△995,686千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間にMist Technologies株式会社の事業計画を見直したことにより、のれんの減損損失を65,819千円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。